

Israel Monthly Trends

2025年8月

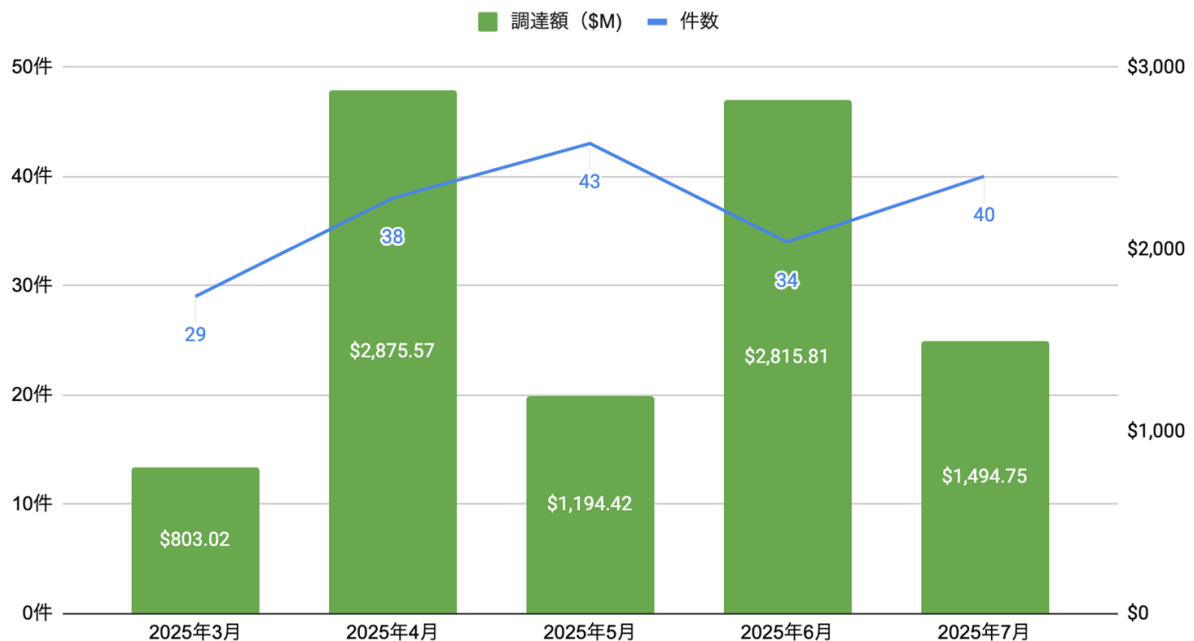
目次

1. イスラエルの現在の状況_8月	p.2
2. 今月の注目テーマ：ドローン	p.3
3. ドローンに関連するスタートアップ	p.4

1. イスラエルの現在の状況_8月

2025年6月16日から2025年7月15日におけるスタートアップへの資金調達動向は、案件数が40件で、調達額の合計は14億9,475万ドルであった。前回（5月16日から6月15日）の資金調達に比べて、案件数は増加したが、調達総額は減少した。

イスラエル・ハイテク企業 月別資金調達推移



出典：IVC Data（2025年7月16日アクセス）、Jakore作成

本レポートの毎月のデータ収集期間は、前月16日から当月15日までとなる。

2025年6月から7月初旬にかけて、複数の企業が異なる資金調達ラウンドで成功を収めた。エンタープライズソフトウェア・インフラ分野のPagaya社は、デットファイナンスで6億ドルを調達。同分野のCato Networks社は、シリーズGおよびセカンダリー・ディールを通じて、総額3億5,900万ドルを調達した。また、医療機器分野のForSight社はシリーズBで1億2,500万ドルを調達。さらに、ハードウェアおよび産業分野のRealSense社はシリーズAで5,000万ドルを調達した。

2. 今月の注目テーマ：ドローン

ドローン（無人航空機）は、人が搭乗せず遠隔操作や自律制御によって飛行する無人航空機の総称である。安全保障分野に加え、物流、農業、災害対応、インフラ点検、監視業務、映像撮影など幅広い分野で実用化が進んでいる。近年はAIやセンサー技術との融合により、高度な自律飛行やリアルタイムデータ取得が可能となり、社会・経済活動に不可欠な存在となりつつある。

主要な取り組みと成果

イスラエルでは、ドローン技術を防衛・民間の両面から国家戦略の中核に据え、社会課題の解決や産業革新の手段として提示している。防衛用にとどまらず、医療物流、インフラ点検、農業、清掃、自動配送など多分野に応用され、「無人航空機＝社会インフラ」としての位置づけが強まりつつある。

この戦略の柱が、2019年に発足した国家ドローン構想（INDI）である。イスラエル・イノベーション庁、交通省、民間航空局（CAAI）、第4次産業革命センター（C4IR）などが連携し、空域管理と自律飛行の制度設計を主導している。欧州U-Space法を参考に空域統合の枠組みを整備し、少人数で複数機を運用できるMDOS（Multiple Drone Operating System）も開発された。3種類のプロトタイプが実証試験で成果を上げ、エルサレムでは血液輸送や災害時の物資搬送なども行われた。

産業分野への導入も進んでいる。Flytrex社は米国で10万件超の食品配達を達成した。Gadfin社は水素燃料ドローン「Spirit-One」により医療物資の長距離・高速配送を実現し、緊急医療インフラを支える。Tevel社はAI搭載の自律型ドローンで果実の自動収穫を可能にし、農業の省人化と品質向上に貢献している。BladeRanger社は鉄道駅やソーラーパネルの清掃を自動化し、高所作業の安全性を向上させた。Percepto社は災害時のインフラ監視に活用され、D-Fend Solutions社は敵対的無人機を制御・無害化する「EnforceAir」で国際導入が進んでいる。

今後の展望

今後は、イスラエルのドローン交通管理（UTM）技術と制度設計力を活かし、国際規制機関（FAA、EASA、ICAOなど）との連携を通じた国際標準形成の主導が期待される。さらに、スマート都市構想や空飛ぶクルマなどとの連携も視野に入り、ドローンは都市生活や公共サービスのあり方を再定義する重要な構成要素となる。イスラエルは、防民連携の技術力を背景に、グローバルなドローンエコシステムにおける中核的地位を固めつつある。

出典：<https://innovationisrael.org.il/en/israels-national-drone-initiative-a-blueprint-for-global-collaboration-and-innovation/>
https://www.israel21c.org/percepto-drones-to-monitor-florida-power-plants-for-damage/?utm_source=chatgpt.com
https://dronelife.com/2024/07/11/d-fend-solutions-unveils-enforceair2-version-24-04-2-with-enhanced-counter-drone-capabilities/?utm_source=chatgpt.com

3. ドローンに関連するスタートアップ

- **Flytrex Aviation Ltd.**

(<https://www.flytrex.com/>)



Flytrex社は、郊外地域を対象に、地元のレストランや食料品店から迅速かつ非接触で商品を届けるドローン配送サービスを提供している。主に2つのビジネスモデルを展開しており、1つ目は自社アプリを通じてレストランチェーン（Papa John'sやChick-fil-Aなど）と提携し、注文から配達までを一貫して行うモデルである。これはWoltに類似したフルサービス型で、同社の中心的な事業となっている。2つ目は、他社と提携し、ドローンによる配送のみを提供するモデルである。

- **Gadfin Ltd.**

(<https://www.gadfin.com/>)



Gadfin社は、長距離の緊急配送や予防保守を目的とした、静音かつ高速な水素駆動型ドローンを開発している。独自の特許技術により、飛行距離、安全性、信頼性、自動化の面で配送の可能性を大きく拡張している。代表機「Spirit-One」は、3～6kgの積載物を長距離輸送でき、医療品など緊急物資の低コスト配送を実現する。航空力学に基づく抗力低減設計、折りたたみ翼、水素燃料電池、先進的な安全機構といった強力な知財によって、同社は持続的な競争優位を築いている。

- **D-Fend Solutions AD Ltd.**

(<https://d-fendsolutions.com/>)



D-Fend Solutions社は、非破壊かつ非ジャミングの電波サイバー技術を用いて、敵対的なドローンを安全に制御・無力化する先進的な対ドローンソリューションを提供する企業である。主力製品「EnforceAir」は、防衛、空港、重要インフラ、公共安全、大規模イベントなどの現場において、危険なドローンを自律的に制御し、安全に着陸させることを可能にする。世界各地の複雑な環境下において多数の導入実績を有し、通信、物流、交通など、社会活動の安全と継続性を支えている。